

fidata

Audio Disc Drive HFAD10-UBX

fidata

高品位音源の本来持つ
“きめ細やかな息遣い”が損なわれることなく
再現することを極限まで追求

信頼に値するオーディオコンポーネント
ーそれが“*fidata*”（フィダータ）

もくじ

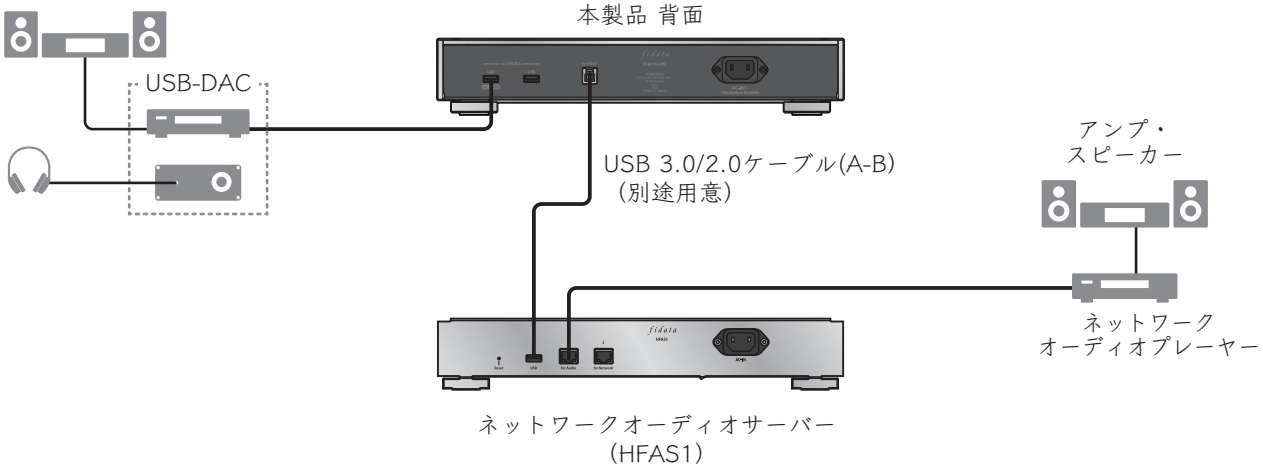
はじめに 4
各部の名称・機能 6
設置する 8
HFAS1 に音楽 CD の楽曲を入れる 10
楽曲を再生する 15
PureRead、RealTime PureRead 19
安全のために 22
使用上のご注意 26
困ったときには 27
アフターサービス 29

はじめに

本製品の使用目的

本製品は、ネットワークオーディオサーバー HFAS1 につなぐことで高精度の CD リッピングや CD 再生を実現するオーディオディスクドライブです。
また USB ハブ機能も持ち、ネットワークオーディオサーバーにつないでいた USB-DAC などを本製品につなぐことができます。
※弊社 Soundgenic につないで使うこともできます。

• 接続イメージ



添付品を確認する

☐ 電源コード　　☐ 保証書　　■ 取扱説明書（本書）

※ USB ケーブルは添付しておりません。USB 3.0/2.0 ケーブル (A-B) を別途ご用意ください。
fidata にはオーディオグレードケーブル HFU2 シリーズもございます。

動作環境 / 仕様

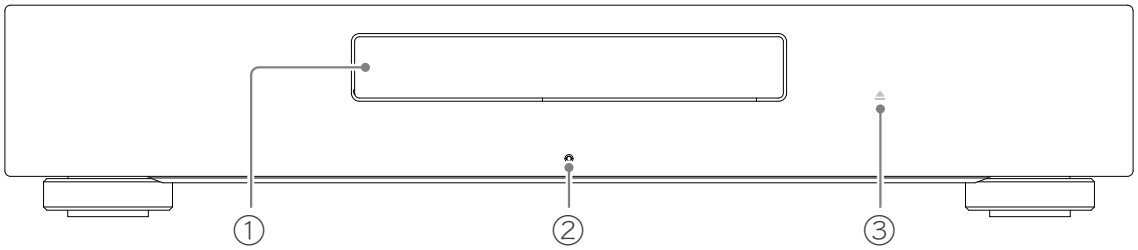
詳しくは、弊社 Web ページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/fidata/product/odd/hfad10-ubx/specification.htm

本製品をUSB CDドライブとして使う場合

本製品を HFAS1 につながない場合、USB CD ドライブとしてネットワークオーディオサーバーやパソコンにつないで使うこともできます。
使う際は別途用意した USB 3.0/2.0 ケーブル (A-B) を用い、本製品のホスト用 USB ポートと機器をつないでください。デバイス用 USB ポートは USB ハブとしてお使いいただけます。

※ 本製品の部位の名称については【各部の名称・機能】(6 ページ) を参照。
※ 本製品は PureRead 機能に対応しています。PureRead 機能については【PureRead、RealTime PureRead】(19 ページ) をご覧ください。
※ 本製品を Soundgenic とつなぐ場合は HFAS1 につないだのと同様にお使いいただけます。

各部の名称・機能

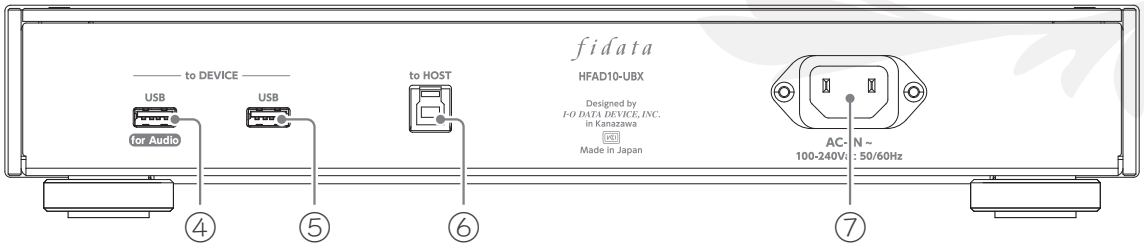


① ディスクトレイ ..... 音楽 CD を挿入します。イジェクトスイッチを押すことで開きます。

② ランプ ..... 本製品の状態を表します。

白点灯：電源入（電源状態は HFAS1 と連動します）
青点滅：CD リッピング中、CD 再生中
消　灯：電源切
※ HFAS1 シリーズの設定画面で、ランプが点灯 / 点滅しないように設定できます。

③ イジェクトボタン..... ディスクトレイを開閉します。



④ デバイス用 USB ポート ... USB-DAC とつなぎます。
(for Audio)

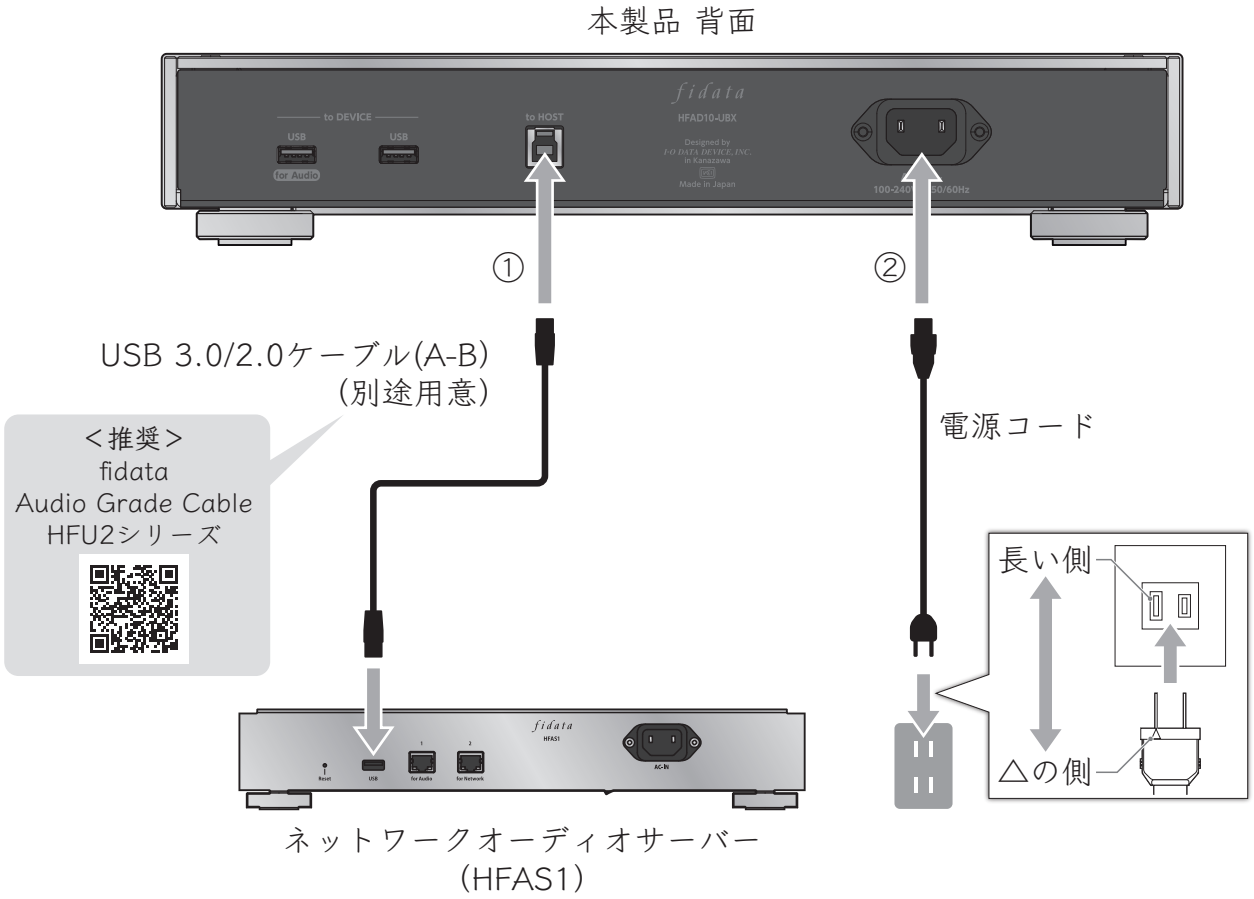
⑤ デバイス用 USB ポート ... USB HDD などとつなぎます。

⑥ ホスト用 USB ポート ..... ネットワークオーディオサーバー HFAS1 とつなぎます。

⑦ 電源端子 ..... 電源コードをつなぎます。

設置する

ネットワークオーディオサーバー HFAS1 とつなぎます。



アンプなどを含む全体的な構成について

4 ページの図を参考にご覧ください。

詳しくは、ネットワークオーディオサーバー HFAS1 の取扱説明書をご覧ください。

HFAS1 にUSB機器をつないでいた場合

HFAS1 の USB ポートには本製品をつなぎます。そのため USB 機器は以下のようにつなぎ替えます。

● USB-DAC

本製品のデバイス用 USB ポート（for Audio）につなぎます。

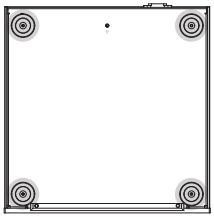
● USB HDD

本製品のデバイス用 USB ポートにつなぎます。

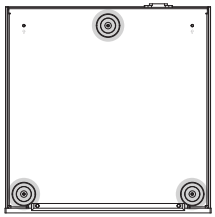
USB ハブを使っている場合は、USB ハブを本製品のデバイス用 USB ポートにつなぎ、その先に USB HDD をつなぎます。

インシュレーターを3点装着にする場合

● 4 点装着



● 3 点装着



※ 底面図

※ インシュレーターを装着できる場所には矢印が刻印されています。

Soundgenic とつなぐ場合

Soundgenic には USB ポートが 2 つありますが、USB 2.0 ポートにつなぎます。

HFAS1 に音楽 CD の楽曲を入れる

音楽 CD の楽曲をリッピングし、HFAS1 に入れます。

用意するもの

- 音楽 CD
- コントロールアプリ「fidata Music App」が入ったスマートフォン / タブレット

fidata Music App のインストール

お使いのスマートフォン / タブレットで App Store/Google Play ストアを開き、「fidata Music App」をインストールしてください。

保存される内容

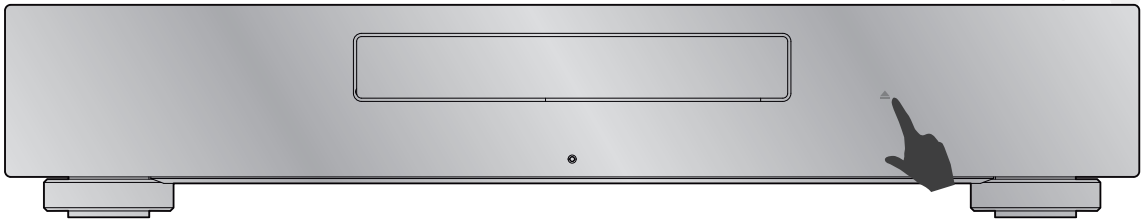
- 楽曲ファイルは、本製品の以下の場所に保存されます。
  contents > CD Library >［アーティスト名］>［アルバムタイトル］の中
- 楽曲は連番の後にタイトルが入って保存されます。(01［曲名］.wav など)
- 楽曲と同じ場所に「Folder.jpg」という名前のアートワークデータが保存されます。
  ※ Folder.jpg は楽曲情報提供用です。パソコンなどで開いたり、コピーすることはできません。本製品内の移動や削除はできますので、お好みの構成に変更することができます。
  ※ Gracenote がアートワークを提供していない楽曲の場合は、Folder.jpg は保存されません。

Gracenote（グレースノート）とは

音楽 CD に関する情報データベースを提供するサービスです。

手順

1 本製品のイジェクトボタンを押し、ディスクトレイを開く



2 音楽CDを入れ、イジェクトボタンを押してディスクトレイを閉じる

3 fidata Music App を起動する

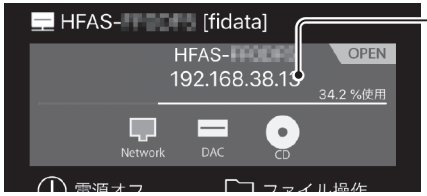
4



左下の をタップする

※左下に表示されていないときは、画面をフリックして切り換えてください。

5



(CD) をタップする

※表示されない場合は、グレー下の[HFAS] をタップします。また、USB CD/DVD/BD ドライブがつながっているか確認します。

6



「アルバム」「アーティスト」「アートワーク」を確認・編集する

※アートワークを編集するには、下の[編集]をタップします。

リッピングする楽曲の形式を選ぶ方法

wav 形式または FLAC 形式で保存されます（初期値 wav 形式）。
［オプション］をタップし、「データ形式」を設定してください。

一部の楽曲だけをリッピングする方法

［全て解除］をタップした後、リッピングしたい楽曲だけをチェックしてください。

7



［リッピング開始］をタップする
⇒ 音楽CDのリッピングが始まります。

リッピング途中で画面を閉じても問題ありません

リッピング作業は本製品で引き続き実行されます。

リッピングに掛かる時間の目安

	音楽 CD のリッピングに掛かる時間※1	
	条件 1※2	条件 2※3
本製品	約 11 分	約 17 分

※1 70分5秒の音楽CDを使っています。数値はあくまで目安です。
お使いになるメディアによって異なります。
※2 AccurateRip: 有効、リトライ処理 : 有効、読み込み速度 : 高速、
エンコード設定 :WAV、PureRead 設定：マスターモード
※3 AccurateRip: 有効、リトライ処理 : 有効、読み込み速度 : 高速、
エンコード設定 :FLAC、圧縮 : 標準、PureRead 設定：マスターモード

AccurateRip（アキュレートリップ）とは

音楽 CD を正しくリッピングできているかを、他の人のリッピング結果と照らし合わせて判断する機能です。

PureRead（ピュアリード）とは

【PureRead、RealTime PureRead】（19 ページ）をご覧ください。

リッピング状況・結果

リッピング中：リッピング作業をしている。
待機中：リッピングの開始を待っている。
判定中：AccurateRip の判定、FLAC 変換処理をしている。
OK（青）：リッピングが完了し、AccurateRip も他者の結果と一致した。
AccurateRip NG（金）：リッピングは完了したが、AccurateRip が他者の結果と一致しなかった。
NG: リッピングに失敗した。PureRead の設定が [パーフェクトモード] の場合、読み取りエラーが発生したためリッピングを中止した。

8 音楽CDが排出されたら、音楽CDを取り出す

すぐに音楽CDが排出された／HFAS1のランプが赤や黄色に光った

● すぐに音楽 CD が排出され、ランプが赤く光っている
- Gracenote で楽曲情報が見つからず、リッピングを中止しました。
  HFAS1 がインターネットにつながっているかご確認ください。インターネットにつながっている場合、音楽 CD の楽曲情報がない状況です。その音楽CDをリッピングするには、HFAS1の設定画面の[USB CD/DVD/BDドライブ設定]>「Gracenote設定」>「未登録楽曲」を[取り込む]に設定してください。
- HFAS1 の内蔵ディスク空き容量が不足しています。
  リッピングには 3.5GB 以上の空き領域が必要です。不要なファイルを削除してから再度お試しください。

● 音楽 CD が排出された際に、ランプが赤く光っている
- 音楽 CD の汚れや傷などにより、リッピングできなかったトラックがありました。音楽 CD の読み取り面をご確認ください。
- リッピング中に、ユーザー操作により音楽 CD が排出されました。

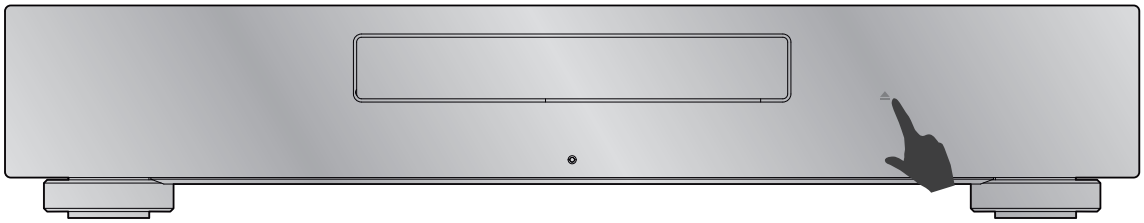
● 音楽 CD が排出された際に、ランプが黄色く光っている
- Gracenote で楽曲情報が見つかりませんでしたが、リッピングしました。
  リッピングした楽曲にメタ情報が付与されているかご確認ください。
  楽曲情報が見つかったときだけリッピングするには、HFAS1 の設定画面の[USB CD/DVD/BD ドライブ設定]>「Gracenote 設定」>「未登録楽曲」を[取り込まない]（初期値）に設定してください。
- AccurateRip で他者の結果と一致しませんでしたが、リッピングしました。
  リッピングした楽曲が正しく再生できるかご確認ください。

これで HFAS1 に楽曲が入りました。

楽曲を再生する

fidata Music App で楽曲を再生します。

1 本製品のイジェクトボタンを押し、ディスクトレイを開く



2 音楽CDを入れ、イジェクトボタンを押してディスクトレイを閉じる

3 fidata Music App を起動する

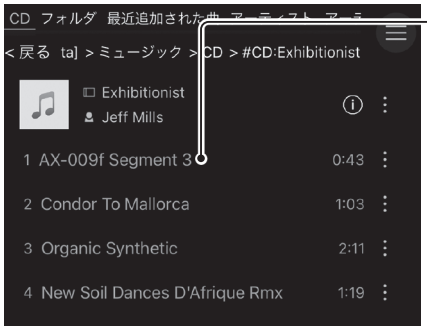
4 「CD」をタップする



CDが見つからない場合

- 画面左上側にあるをタップした後、[HFAS-xxxxxx] →［ミュージック］とタップしてください。
- 画面左上にがない場合、フリックでペイン（画面区分）を切り換えてください。

5



楽曲をタップして、プレイリストに登録する
⇒ タップした楽曲は、右側(プレイリストペイン）に登録されます。

楽曲を登録できない場合

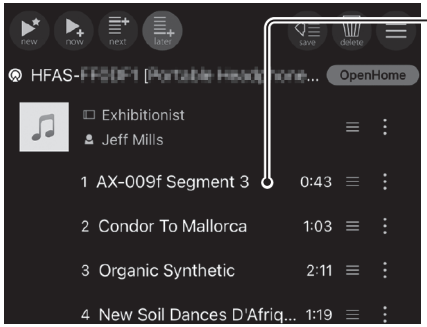
右下の をタップして、レンダラー（プレーヤー）を選んでください。

6 画面をスワイプし、もう片側のペイン(プレイリストペイン）を表示する



※ タブレットの場合、この操作は不要です。
（ペインが２つとも表示されます）

7



楽曲の登録を確認する

登録した楽曲の順番を変える方法

楽曲名やアルバム名の右にある をドラッグして、曲順を変更します。

楽曲の登録を削除する方法

- iOS 版の場合
  楽曲を左へフリックし、表示された［削除］をタップします。
- Android 版の場合
  楽曲を左端までフリックします。

楽曲の登録ルールを変える方法



（new）：タップした楽曲を再生します。他の楽曲はプレイリストから削除します。（楽曲リストで選んで再生する操作感）



（now）：タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。
また、登録した楽曲を再生します。



（next）：タップした楽曲を、プレイリストの現在再生中の楽曲の次に登録します。



（later）：タップした楽曲を、プレイリストの最後に登録します。（初期値）

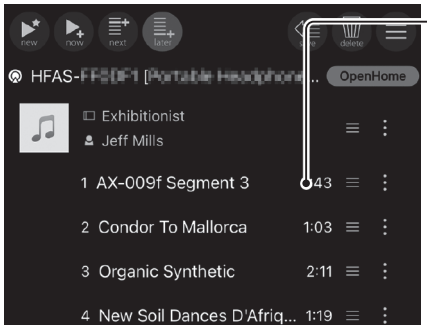
プレイリストを保存する方法



（save）をタップすると、今のプレイリストをローカルプレイリストとして本アプリに保存できます。

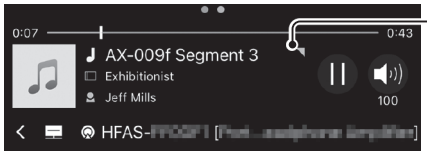
詳しくは、HFAS1 の詳細ガイドをご覧ください。

8



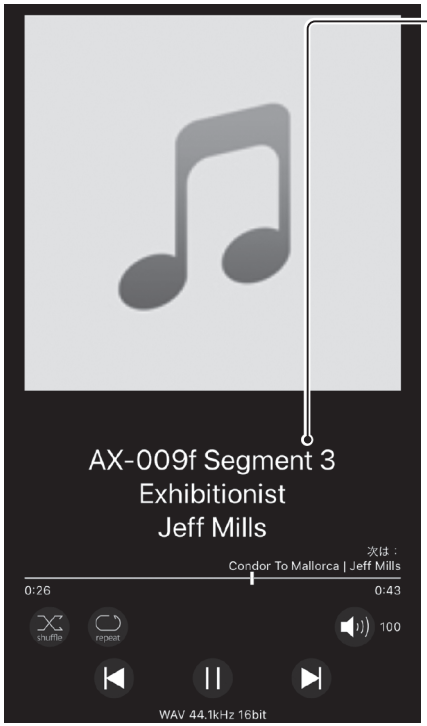
最初に再生する楽曲をタップする
⇒ 楽曲の再生が始まります。

9



◥をタップする

10



楽曲情報やアートワークが大きく表示されます。
楽曲をお楽しみください。

元の画面に戻る方法

楽曲名のあたりをタップすると、元の画面に戻ります。

PureRead、RealTime PureRead

PureRead、RealTime PureRead とは

PureRead、RealTime PureRead はパイオニア株式会社が独自技術により開発した音楽 CD の読み取り精度を高める機能です。本製品はこれらの機能に対応しています。



RealTime PureRead

PureRead、RealTime PureRead の設定値

本製品における PureRead、RealTime PureRead の初期値

本製品の初期値は PureRead が［マスターモード］、RealTime PureRead が［有効］です。

※ HFAS1 につないだ時点で HFAS1 に記録された設定値に変更します。
HFAS1 に記録された設定初期値も PureRead が［マスターモード］、RealTime PureRead が［有効］です。

- PureRead

設定値	説明
パーフェクトモード	音楽 CD に記録されている元データと同じ音を読み取ります。CD リッピング中にリードエラーが発生した際は、読み取り方法を調整しデータ補間の発生を低減させて再度読み取りを行います。それでもリードエラーが発生した際にはデータの補間を行わずにリッピングを中止します。

設定値	説明
マスターモード	可能な限り音楽 CD に記録されている元データと同じ音を読み取ります。CD リッピング中にリードエラーが発生した際は、読み取り方法を調整しデータ補間の発生を低減させて再度読み取りを行います。それでもリードエラーが発生した際にはデータの補間を行いリッピングを継続します。
無効	PureRead の機能は無効になります。

• RealTime PureRead

設定値	説明
有効	CD トランスポート再生時に PureRead が有効となり、リアルタイムでデータ補間の発生頻度を抑え、音楽 CD 本来の音質で再生します。
無効	RealTime PureRead の機能は無効になります。

HFAS1 で設定する

HFAS1 につないだ本製品の PureRead、RealTime PureRead を設定します。

1 HFAS1 の設定画面を開く

fidata Music App を使います。方法については、HFAS1 の取扱説明書や詳細ガイドをご覧ください。

2 [USB CD/DVD/BD ドライブ設定] を開く

3 「PureRead 設定」を設定する

Windows パソコンで設定する

Windows パソコンにつないだ本製品の PureRead、RealTime PureRead を設定する場合は、パイオニア株式会社の提供するアプリが使用できます。
詳細は以下のページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/fidata/product/odd/hfad10-ubx/specification.htm

安全のために

▼危険・警告・注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

⚠ 危険



本製品を修理･分解･改造しない
本製品火災や感電、やけど、故障の原因になります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるようなものを置かない
発火の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いた後にする
電源コードを抜かずに上記の行為をすると、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発火、発熱のおそれがあります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。
発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷がつき、発火や感電の原因になります。

添付の電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付の電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する / たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- ランプの点滅中は、HFAS1 などつないだ機器の電源を切ったり、リセットしたりしないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
- 本製品に音楽 CD を入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品や音楽 CD を破損します。
- 音楽 CD の取り扱いについて、以下をお守りください。
  - ・音楽 CD を持つときは光沢のある場所に触らず、両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
  - ・音楽 CD に紙やシールを貼らないでください。
  - ・ひびの入った音楽 CD や反り返ってしまった音楽 CD は絶対に挿入しないでください。また、割れた音楽 CD をテープ類や接着剤で張り合わせて挿入しないでください。高速回転しますので、欠陥のある音楽 CD は危険です。
  - ・音楽 CD に異物がついていないことを十分ご確認の上、本製品に挿入してください。
- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
- お手入れ方法

  本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
  - ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
  - ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

困ったときには

本製品の電源が入らない

- HFAS1 などの機器とつながっていないことが考えられます。接続をご確認ください。またつないだ機器の電源が入っているかをご確認ください。

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが動作しない

- HFAS1 などの機器とつながっていないことが考えられます。接続をご確認ください。またつないだ機器の電源が入っているかをご確認ください。
- リッピング動作中は、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは動作しません。リッピングを中止するか、動作完了を待ちあらためて操作してください。
- HFAS1 の設定画面を開き、[USB デバイス操作] →［デバイスの取り外し］を選んで実行してください。

※ 上記の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず修理をご依頼ください。

イジェクトボタンを押しても「ピッ」と音がしない

- ボタンの故障が考えられます。修理をご依頼ください。

※ ディスクトレイを取り出せない場合も無理に引き出さないでください。

リッピングの際、すぐに音楽 CD が排出された / HFAS1 のランプが赤や黄色に光った

- 【すぐに音楽 CD が排出された／ HFAS1 のランプが赤や黄色に光った】（14 ページ）をご覧ください。

CD リッピングに時間がかかる

- AccurateRip の照合結果が他者の結果と一致しなかったため、再リッピング（リトライ）をしています。しばらくお待ちください。

デバイス用 USB ポートに USB 機器をつないでも Soundgenic に認識されない

- 本製品を Soundgenic につなぐ場合は、Soundgenic の USB 2.0 ポートにつないでください。Soundgenic の USB 3.0/2.0 ポートにつないだ場合は、本製品のデバイス用 USB ポートが正しく動作しません。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから５年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、５年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて
個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシーに基づき、適切な管理と運用をおこないます。
https://www.iodata.jp/privacy.htm

お問い合わせいただく前に、以下をご確認ください

● サポートページの Q&A を参照

https://www.iodata.jp/p/235120

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：**050-3116-3015**

※ 受付時間　9:00～17:00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

インターネット：**https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk**

【ユーザー登録はこちら】・・・https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

【商品アンケートはこちら】
お気づきの点がございましたら
アンケートにご協力願います。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising fro m use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

• 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

音楽をこよなく愛する皆様へ

最高のひとときのお手伝いができれば幸いです

I-O DATA

MANU000764